

令和7年度 第1回国分寺市高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画評価等検討委員会 会議録

令和7年7月29日(火)
午後6時30分～午後8時00分
会議室 201

委員会次第

- 1 開会
 - ① 委嘱状の伝達
 - ② 会長・副会長の選出
- 2 議題
 - ① 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の評価について(資料1)
 - ② 国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について(資料2)
- 3 報告
 - ① 介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票(令和6年度)について(資料3)
 - ② 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会今後のスケジュールについて(資料4)
- 4 閉会

出席者等(敬称略)

会長… 富井 友子

副会長… 奥山 尚

委員… 岡部 正行、横田 剛一、鈴木 さおり、八木 亜希子

事務局… 福祉部長(玉井)、高齢福祉課長(荒田)、計画・事業推進係長(清水)、
事業推進担当係長(寒河江)、介護保険係長(木田)、介護保険担当係長
(山田)、相談支援係長(赤嶺)、地域包括ケア担当係長(鈴木)、計画・
事業推進係(杉本、中濱)

1 開会

省略

2 議題

① 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の評価について（資料1）

富井 会長…議題に移らせていただきます。1つ目の議題は、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についてです。資料1を御覧ください。こちら事務局が作成した第9期の評価票になります。第9期評価票の全体構成について事務局から御説明をお願いします。

清水 係長… 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の評価について御説明いたします。資料1と、本日お持ちいただいた9期の計画書をお手元に御準備ください。

資料1を御覧ください。「1 概要」ですが、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会では、委員の皆様から、計画に定める事業の進捗状況及び評価について御意見をいただきます。

評価の流れについては、「2 流れ」を御覧ください。まず、各事業の担当課が、事業の進捗について自己評価します。次に、検討委員会を開催し、担当課の評価について委員の皆様から御意見をいただきます。各事業担当課の評価と委員の皆様からの御意見を踏まえて、評価を決定し、市議会へ報告、市ホームページで公開します。その後、介護保険運営協議会に報告という流れになります。

評価については、前年度の評価を翌年度に行います。また、計画初年度及び2年度目は、年度ごとの進捗状況評価を行い、最終年度には計画期間全体の達成状況評価を行います。

続きまして3、評価票の構成についてです。資料1の2ページを御覧ください。併せて9期計画書の74ページを御覧ください。

評価票は、計画に定めた施策の方向ごとに、施策評価票と事業評価票で構成されております。施策の方向は、9期計画書74ページの右側に記載しているとおりで、全部で10あります。施策評価票では施策の方向ごとの進捗状況を評価し、事業評価票では、施策の方向を達成するために定めた事業ごとの進捗状況を評価いたします。資料1の2ページの左側、「1 施策評価票」を御覧ください。（1）進捗状況評価については、令和6年度・令和7年度の進捗状況を、目標達成に向けておおむね進行している・やや取組が遅れている・大幅に取組が遅れている、の3段階で評価します。（2）達成状況評

価については、第9期を経て目標を達成することができたかについて、目標以上に達成した・おおむね達成した・目標を下回った・実施しなかった、の4段階で評価します。

右側の「2 事業評価票」を御覧ください。(1) 達成状況は、施策の方向の重点取組について、計画最終年度末の評価をA・B・Cの3段階で評価します。重点取組については、計画最終年度の目標値を計画で定めておりますので、その目標値の到達の度合いによって評価を行います。計画初年度と二年度目は、(2) 進捗状況にて、重点取組の進捗状況を記載します。また、(3) に記載のとおり、取組事業についても、その状況を記載します。

次に、資料1の3ページ施策評価票を御覧ください。左上の基本目標1が、計画書74ページの基本目標1と、施策の方向1が計画書の施策の方向1-1とそれぞれ対応しております。

評価については、前年度の評価を翌年度に行いますので、例えば「令和6年度」の欄は令和7年度に記載します。「進捗状況評価」及び「進捗状況評価に関する説明」は、事務局で記載し、その評価について検討委員会の御意見をいただきます。いただいた御意見については「検討委員会意見」の欄に記載いたします。

また、その下の段になりますが、令和6年度から令和8年度までの計画期間全体の達成状況評価については令和9年度に行います。

4ページの事業評価票を御覧ください。事業評価票では、計画に定めた重点取組の進捗状況について、最終年度に実績値を基にA・B・Cの3段階で「達成状況」を評価し、「進捗状況」の欄に説明を記載いたします。ページ下部には、計画に定めた取組事業について「取組状況」を記載いたします。なお、事業評価票は全て事務局が記載いたします。

第9期計画の評価票の構成について、第8期の評価票から一部様式を変更しております。変更した部分は「施策評価票」の最下部に記載のあった「次期計画に向けた方向性」を削除し、「事業評価票」の重点取組の目標値を計画最終年度の数値とし、進捗状況について評価対象年度のみではなく、各年度の評価を並べて記載しております。

評価票の説明は以上となります。

富井 会長… 事務局から計画評価の流れと計画評価票について第8期からの変更点を御説明いただきました。今回初めて会議に参加される方は、第8期の評価票を御覧いただいてないところで恐縮ですが、何か現時点で御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

- 岡部 委員… 資料2の1ページ一番上に、評価票は「施策の方向」ごとに、「施策評価票」と「事業評価票」で構成されているのはわかるのですが、3ページ以降を見ていくと、施策の方向の上に基本目標というのがあって、基本目標ごと、施策の方向ごとに、というふうに書いた方が、カテゴリーとして分かりやすいと思います。
- 清水 係長… 基本目標の中に、施策の方向が複数ございますので、基本目標とその方向というところで、両方が関連していますので、おっしゃる通りで表記方法について検討します。
- 岡部 委員… もう1点質問させていただきます。2ページ右側に、事業評価票の説明が書いてあって、その「(2)進捗状況」の中で、施策の方向の重点取組、それから「(3)取組状況」の中で、施策の方向の主な取組事業とあるのですが、この2つの違いは何ですか。今回の進捗状況評価の対象となっているのは、重点取組であって、重点取組に対してのみ評価をしている。しかし、「進捗状況評価に関する説明」欄には、主な取組事業についての記載もありますので、その違いは何かというところをお聞かせいただきたい。
- 清水 係長… 計画書85ページを御覧いただくと、見本の事業が記載されており、施策の方向1「生活支援・介護予防サービス体制整備の推進」という重点取組を設定しております。様々な取組がある中で、優先的に取り組む事項を、重点取組として1つ設定をしております。
- 重点取組につきましては、9期目標として、令和4年度実績に基づいて、令和8年度目標値を設定しております。
- そちらの目標値に対しての実績値を評価していただく。また、令和6年度から8年度の進捗状況の確認と評価をしていただくというところで、1つ重点取組については設定しているという制度になっております。その他にも86ページに5つの取組事業の記載がございますので、そちらの取組の状況を年度ごとに記載をさせていただいて、その取組状況を確認し、評価をしていただきたいと思いますと考えております。
- 岡部 委員… ここで言う評価は、その目標値を設定した重点取組だけの評価をしているように見えるのですが、主な取組事業は評価対象ではなくて、今、各課でこのような事業をやっていますという内容と、その進捗状況を述べているのにすぎないのでしょうか。これだといわゆる取組状況を報告しているだけに過ぎず、取組事業については、この場で議論すべきことではないのかなという気がしたのですが、いかがでしょう。
- 清水 係長… 数値目標を立てているのは重点取組になりますので、取組事業に関しては、こういった取組をしているということを参考に確認いただく

というところです。

岡部 委員… よくわかりました。ありがとうございます。

富井 会長… 今お話にありました重点取組と取組内容ですけれども、取組内容に関しては、今後、令和7年度、8年度と進捗状況を確認し評価していく、というところで、おそらく今回この令和6年度に書いてある数値、実態等が基準となって、その後令和7年度、8年度にどのように動いていくのかというところを評価等検討委員会で確認していくことになると思います。

例えば、こちらの評価票では令和5年度がどうだったかという評価の記載がないと比較が難しく、私達も今回令和6年度に関しては評価ができないかなと思いますが、今後、令和6年度から令和8年度までの3年間を評価していくというところでは、今回スタート地点というところであらかじめ承知いただけたらと思います。事務局、よろしいでしょうか。

清水 係長… はい、ありがとうございます。

②国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について（資料2）

富井 会長… 続きまして、事務局から資料2をもとに令和6年度実績を御説明いただきます。皆様からは、施策の方向ごとに御意見をいただきたいと思います。いただいた御意見は資料2の3ページ目にございます施策評価票の検討委員会意見の欄にまとめる形になります。施策の方向が1-1から4-2までで、10項目。施策の方向ごとに1-1から事務局に説明をいただきたいと思います。

清水 係長… 国分寺市高齢者保健福祉計画・第10期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価につきまして、資料2を御覧ください。説明の流れとしましては、施策の方向ごとに、事業評価票の各事業についての評価について御説明した後、御意見を頂くという形で進めさせていただければと思います。本日の会議で全ての「施策の方向」の評価について確認を行っていただく予定ですので、「施策の方向」1つにつき3分程度で確認をいただきますよう、御協力をお願いします。資料の2ページを御覧ください。進捗状況評価の総括表になっております。令和6年度の進捗状況評価は、「おおむね目標どおりに進行している。」が10件となっております。資料3ページを御覧ください。ここから各施策の評価となります。基本目標1「だれもが楽しみを持って幸せに暮らすことができる」、施策の方向1「市民同士の支え

合い・助け合いの推進に向けて」、重点取組は「生活支援・介護予防サービス体制整備の推進」になります。令和6年度の進捗状況評価は目標達成に向けておおむね進行しているとしております。進捗状況評価に関する説明および事業評価票の内容につきましては、資料記載のとおりとなります。施策の方向1の説明は以上となります。

富井 会長… ありがとうございます。御質問、御意見があれば、伺いたと思いますが、まずは私の方から一点質問します。今回は、第9期計画期間3年間の初回の評価というところで、前回第8期では、重点取組が、各取組がある中でなぜこの取組が設定されているのかについて。計画を策定する委員会は、こちらの評価委員会では、メンバーの異なるところで作られているところで、各重点取組がなぜ設定されているのか、可能な範囲で結構ですので御説明いただいた上で、委員の皆様にご検討願いたいと思いますがいかがでしょうか。

清水 係長… 重点取組を設定している理由ですが、基本的には各施策の中で重要な取組を確認し、設定しているということになります。施策の方向ごとに、最終的な目標を達成するために、事業を推進することで、目標達成に近づくというところを、考えて設定しております。

富井 会長… その中で、前回の実績をもとに、この目標値を4と設定し、令和6年度は4回実施したということですね。事務局の提示の評価では、先ほどお示しいただいた通りですが、これに対して変更したほうがいい、あるいは新たに意見を追加したほうがいい、それから、事務局の評価どおりではないという御意見、様々にあるかと思いますが、皆様いかがでしょうか。事務局としては、目標に対しておおむね達成しているということです。

岡部 委員… ここを見ると、実績値が年4回になっていて、令和8年度の目標値は4回になっているのですが、令和6年度から令和8年度にかけて毎年度4回ずつ開催すればいいという意味なのか、最終的に令和8年度に目標値に到達していれば評価されるのか。その辺がわかりづらかったのですが。

赤嶺 係長… 相談支援係長の赤嶺と申します。こちらの会議につきましては、生活支援サービスということで、様々地域作りについて検討する会議となっております。目標値に対して、会議を開催した回数を評価ということになりますが、実際に何を議論していくかというところが大事だと思っております。ただ、その質的なものを評価指標と設定するのは、とても難しいので、こちらの実績値、目標値としては回数を挙げております。どのような議論をして、どのような成果があ

ったのかという点につきましては、進捗状況に記載させていただきますので、御意見等いただければと思います。質的なものを、数字に落とし込むのが難しいため、回数という形で記載させていただいております。

岡部 委員… そうすると検討委員会の意見としては、目標値に対して実績値を示していただいております、この数値で目標達成に向けておおむね進行しているという進捗状況で、問題ないと思います。

富井 会長… 今年度に関しましては、3段階評価のうち一番上のところでの目標達成に向けておおむね進行しているというところで説明しておりますが、御意見いかがでしょうか。岡部委員から御意見ありましたが、こちら目標達成に向けておおむね進行していると評価してよろしいでしょうか。

各 委員… 異議なし。

富井 会長… 続きまして、基本目標 1、施策の方向2について、事務局から説明をお願いします。

清水 係長… 事業評価票7ページの基本目標 1、施策の方向2「市民の社会交流・参加のための多様なきっかけづくりに向けて」となります。重点取組は市民フォーラムの開催です。進捗状況評価につきましては、目標達成に向けておおむね進行しているとしております。令和 8 年度目標値は1で、令和 6 年度実績値が 1。計画書 87 ページの令和 4 年度の実績値が 1 回ということです。説明は以上となります。

富井 会長… こちらは、毎年1回の開催を重ねていくということによろしいでしょうか。この年1回開催で35名の方が参加したというところを評価していただく形にはなりますが、皆様いかがでしょうか。同じ1回でも、人数によって異なるところがありますが、事務局としては達成目標に向けておおむね進行しているという評価です。これは35人を多いととるか少ないととるか、この資料だけではわかりにくいところがありますが、前回値は出ますでしょうか。

赤嶺 係長… 令和5年度につきましては、参加者が46人ということで、令和6年度より多かったです。この35人という人数ですが、令和6年度につきましては、講演のみ行いましたが、令和5年度は地域団体を呼んだパネル・ディスカッションのようなこともしていた関係で、令和5年度よりも人数の減があったと考えております。令和6年度についても、周知をさせていただきましたが、参加者は35人という結果になりました。

しかし、内容についてはとても満足度が高いというようなアンケート

ト結果もあり、いい講演だったので、更に多くの方に来ていただきたいという事務局の思いもありまして、今年度も引き続き昨年度と同じ方に、少し切り口を変えたり地域の方も呼んだり工夫しながら行っていただく方向で、企画しております。今年度の参加人数を、昨年度より増加させるため、現在取り組んでおりまして、年 1 回、地域づくり、互助活動を考えるきっかけということで企画をし、地域の方の取組を紹介しながら、こういった場を継続して開催するということが大事だと考え、実施しているということを補足説明させていただきます。

富井 会長… 啓発活動ですので、参加者数、それから開催は 1 回で良いか、様々な場所で行う方がいいのではないかとこのところもありますが、皆さんから御意見いかがでしょうか。

岡部 委員… 令和 5 年度の参加者が 46 人、今回の参加者 35 人で、参加者数については減少したものの、フィードバックを事務局の方でしっかり取られていて、その内容も非常に良かった、というところで、私達としては評価していいのではないかと思います。

富井 会長… 岡部委員から御意見いただきましたけれども、他には御意見ございますでしょうか。目標達成に向けておおむね進行しているということですが、私からは少し厳しく、人口比からすると 35 人というのは非常に少ないので、来年以降、この 1 回に捕らわれずに、回数、それから参加者数を多くする努力をして頂けるとよろしいかなと思います。ではこちら、進捗状況としては、目標達成に向けておおむね進行しているとさせていただきたいと思います。続きまして、基本目標 2 施策の方向 1 です。御説明よろしくお願いします。

清水 係長… 基本目標 2 「健やかに、住み慣れた地域で暮らすことができる」、施策の方向 1 「いつまでも健やかに過ごすために」、重点取組は、介護予防普及啓発事業となります。進捗状況評価は目標達成に向けておおむね進行しているとしております。令和 8 年度の目標値が 1,200。令和 6 年度の実績値は 1,098 です。計画書 91 ページの令和 4 年度の実績は 1,033 人となっております。説明は以上です。

富井 会長… 基本、この実績値は年度毎ですかね。年度で 1,200 ということでよろしいでしょうか。

清水 係長… はい。

富井 会長… 3年間で 1,200 ではなく、年間で 1,200 ということですね。介護・転倒予防教室を年間 12 回実施されていて、参加人数計 169 名。介護予防講演会 113 名。その他のところで 51 名。参加者人数や活

動について書かれてないものが多いかと思います。事務局から説明をお願いします。

赤嶺 係長… こちらに記載のある事業に関しては、記載どおりですが、載っていない差分について御説明します。地域の出張講座等も行っておりますが、こちらの事業に関しましては、進捗状況の人数のところには記載されておりません。進捗状況の欄には、主だったものを記載していますが、それ以外で、介護予防普及啓発事業に位置付けられている事業を積み上げていった結果、参加者数は 1,098 人ということで記載しております。

富井 会長… 令和 4 年度の実績が 1,033 人というところに対して、令和 6 年が 1,098 人と 1,200 に近づいたような形になっております。これにつきまして、御意見、御質問等いかがでしょうか。

岡部 委員… こちらの実績値を令和 8 年の目標値で割ると大体 91.5%になります。事務局の方で、進捗状況評価に関する説明のところで目標達成に向けておおむね進行しているという評価をしていますが、91.5%というのは、おおむね達成しているというふうに考えていいのでしょうか。それとも、目標を下回ったというふうに考えるべきなのか、その辺りの基準、具体的な線引きを教えてください。

富井 会長… なかなか難しいところだと思います。積み上げた結果なので、それぞれの趣旨があつての開催等なのだと思いますが、いかがでしょうか。

赤嶺 係長… 明確な基準というのは、なかなか設けにくい部分もございますが、事業によって、また講座の内容やテーマによって参加者の増減もあるため、目標値の 9 割を超えたから必ず達成という評価は、担当としては、つけづらいということが正直なところではあります。ある程度各種事業、毎回御参加があり実施できていて、目標値をやや下回ってはありますが、そこに関しては許容範囲と考えております。ただ、今おっしゃられたような明確な基準が、今は設けられていないので、事業ごとに、これぐらいの達成ができたからこのような評価をしましたということをお伝えできる基準を、担当間で確認をした上で、改めて御説明をしたほうがいいかなと感じました。事業を主で担当している職員に、積み上げた 1,098 人の内訳を再確認し、その前年比、伸び率や開催数を確認した結果を踏まえて、御説明ができるような整理を、今後内部でしていきたいと思います。今年度に際しましては、担当としては、目標達成に向けておおむね進行していると考えているという御説明とさせていただきたいです。

- 奥山 副会長… 最初に説明があった資料１の２ページを確認すると、事業評価票の達成状況というのは令和８年度に最終的に ABC 評価をするのだと思いますが、これについても B の説明で 80%以上 100%未滿は、おおむね達成したと評価することになっています。こちらは令和８年度の評価基準であり、今回の評価基準ではありませんが、そういう意味では今おっしゃった 91%は、おおむね達成という段階に入っていくのかなというふうに聞いていました。
- 富井 会長… その他、御意見いかがでしょうか。
- 八木 委員… 質問です。この評価に至るまでに事業名、例えば 11 ページの方に 5つの事業名の記載があり、取組状況という中に令和６年度から令和８年度まで記載する箇所がありますので、記載されている取組状況を踏まえた上での進捗状況の評価というところでよろしいでしょうか。
- 計画・事業推進係 中濱… はい。主に重点取組を確認していますが、例えば先ほど御説明した基本目標２「健やかに住み慣れた地域で暮らすことができる」、施策の方向 １「いつまでも健やかに過ごすために」の進捗状況評価に関する説明という欄を見ていただきますと、集いの場の新規グループ立ち上げ支援について記載しております。重点取組の評価を中心としていますが、重点取組だけではなく、その他の取組事業についても加味して、ここの評価については、つけています。
- 八木 委員… この項目に関しまして、今回、おおむね達成しているという評価でよろしいのかなと思います。なぜならば、11 ページの方の真ん中、短期集中予防サービス（サービス C）の令和６年度参加人数が８人というところで、このサービス C の事業そのものが、参加対象者を見つけるというのが、かなり難しい事業でございまして、その中で、例えば、介護予防把握事業のところで「サービス支援の利用者を増やすために要支援 １・２ のサービスに利用者を対象とする方針を決定」という取組というのは、サービス C の参加者を増やすための大きな取組だと感じます。今後サービス C の参加者を増やすための大きな動きであり、おおむね達成したと評価して良いと感じます。
- 富井 会長… ありがとうございます。基本目標１のところでは、大変失礼いたしました。重点取組のみでなく取組状況を含めて進捗状況評価というところで、訂正させていただいております。基本目標２、施策の方向 １については、八木委員からサービス C について御意見がありましたけれども、他にも取組状況を含めて御意見等、いかがでしょうか。
- それでは、目標達成に向けておおむね進行しているとさせていただきます。

きたいと思います。

続いて、基本目標 2 施策の方向 2、事務局からお願いします。

清水 係長… 基本目標 2、施策の方向 2「在宅生活をできるだけ続けるために」、重点取組は医療・介護多職種連携事業となります。

進捗状況評価につきましては、目標達成に向けておおむね進行しているとしております。13 ページの事業評価になります。令和 8 年度の目標値は 2,290。令和 6 年度実績値 1,937。計画書の 93 ページの令和 4 年度実績は 2,177 回となっております。説明は以上となります。

富井 会長… 連携部会を 2 回開催し、その他研修等を行ったとのこと。この指標における連絡・連携した件数という定義は、部会や研修等の参加者ということでしょうか。それともケースということでしょうか。

赤嶺 係長… こちらの数は、相談のところで地域包括支援センターが医療機関等と連携した件数ということでの計上になっております。1 ケースでも複数回連携するということもありますので延べ件数での計上になります。

富井 会長… わかりました。これが令和 4 年では 2,877 回でしたけども、令和 6 年には実績としては少し下がって 1,937 件というところ。その他の取組事業が 9 つありますけれども、これらについても、御意見御質問等ございますでしょうか。

八木 委員… こちらの事業内容、指標、令和 8 年度目標値、令和 6 年度実績値 1937 件と包括が医療機関と連絡・連携した延べ件数の記載があり、進捗状況の方は、会議や研修等を開催し、何名参加したという参加者数が書いてありますが、この進捗状況と、目標値、実績値との関係性がなかなか読み取れません。

在宅医療・介護の地域連携という、この事業内容に関する進捗状況というのはイメージがつくのですが、目標値のところは、包括が保健医療機関と連携・連絡した延べ回数ですね。その目標値と、進捗状況に記載のある会議等の参加者の人数というのがイメージしにくい、繋がりが見えにくいと思いますがいかがでしょうか。

鈴木 係長… この医療介護連携推進事業が、複数の事業で構成されているというところで、例えば部会の開催、窓口設置事業、また研修等を総合して運営をしているところですが、計画の指標としては、この地域包括支援センターの目標値を設定しているという状況でございます。

富井 会長… 今のお話を伺うと、様々な事業を研修等によって地域包括支援センターの職員が、この連携の必要性、具体的な連携を学び、それが実際

の連絡・連携した件数に反映されているだろうという関連性のもと、このような説明があるということによろしいですか。

鈴木 会長… 直接的な指標ということではなく全体の事業として体制整備を推進する中で、指標として地域包括の連携の件数を指標として、今会長の方で補足していただいたような関係性となっています。

富井 会長… もう少し 1937 件の内訳的なところが欲しいというところですね。その辺りは、少し補足いただけますでしょうか。

鈴木 係長… 今期の計画については、この地域包括支援センターの件数を目標設定しているところですが、この医療・介護多職種連携事業は、年々拡大をしてきているところがありまして、そこにふさわしい目標値というものを今後検討していくことになっていくと思います。

奥山 委員… 例えばその講演会や研修に出る人数は、評価としては、さらに増やすということがありますが、あくまで目標値は相談に対して、連絡・連携した回数なので、相談が増えることが必ずしもいいことではないということも踏まえての評価ですね。もちろんニーズがたくさんあることが前提で、当然、評価指標である相談が増えるという予想はされますが、相談件数が少ないということは、困った人が少なかったという評価にもなるので、単純に目標値の 2,290 回に到達しなかったから悪い評価というわけにはいかないと思います。

富井 会長… 相談件数を指標にするとすると、必ず回数が多いからよいのか、実は回数が少ない方がよいのではないかといった話が出て参りますけれども、今回連絡・連携までしている件数というところで、必要に応じて連携をし、目標値に近づけていくというところかと思います。他には御意見いかがでしょうか。

八木 委員… もう一点、高齢者生活支援ヘルパー事業の取組状況、令和 6 年度というところで、新規利用がなく、令和 5 年度からの継続利用が 1 人（骨折）であったと取組状況に記載があります。この事業内容を拝見すると、「骨折等により短期間で回復が見込まれる方や、要支援要介護認定更新に非該当と認定された方に、期間を決めて生活援助及び身体介護を行います」と書いてありますが、状況的に継続して長期利用しているこの 1 人の方というのは、事業の対象ではないのかなと思います。骨折であれば、介護保険の認定で非該当となりにくいと思いますし、生活支援ヘルパー事業を利用するよりも、介護認定を勧めるのが、適切であるかと思います。事業としては、短期間で回復が見込まれる方を対象としているが、年度をまたいで継続利用というのは期間的にもかなり長期になっているように思います。利用実績が、その方 1 人

であったという取組状況について、それはよかったのか悪かったのか、
どういうケースだったのかというところが気になります。

富井 会長… こちらについていかがでしょうか。恐らく介護予防事業との関連も
あるかと思います。御説明をお願いします。

寒河江 係長… こちらの事業の期間につきまして、3 ヶ月を限度としております。
継続の方につきましては、令和5年度の年度末に御申請をいただいた
関係で、継続というふうにさせていただきました。分かりづらくて申
し訳ございませんが、3 ヶ月以内に終了していることになります。お
っしゃる通り、こちらの事業は、介護の申請をされていない方が対象
になっておりますので、長期になるようなケースを御相談いただいた
場合には、その方に介護申請を促す御案内をさせていただいている関
係で、人数としては毎年、大きな増減はない状況です。

富井 会長… 必要性のある事業として作られているのであれば、もう少し御周知
が必要かと思えますし、取組としては人数が少なすぎるかと思えます。
同じくその下の寝具洗濯乾燥消毒サービスの方についても、周知をし
ていただくというところがあるかと思えます。他に御意見いかがでし
ょうか。全体として目標達成に向けては、おおむね進行しているとい
うことでよろしいでしょうか。続きまして、基本目標2、施策の方向
3についてお願いします。

清水 係長… 基本目標2、施策の方向3「家族介護者、ケアに関わる人を支える
ために」、重点取組は家族介護者交流会です。進捗状況評価につしまし
ては、目標達成に向けておおむね進行しているとしております。事業
評価票の令和8年度の目標値が147、令和6年度実績値141。計画
書の95ページの令和4年度実績は、107人となっております。説明
は以上となります。

富井 会長… 今回は平日だけでなく土曜日も開催したところでの141名参加と
いうことですが、家族介護者支援が必要な母数を考えると、141がそ
れほど多いと判断しにくいのですが、目標値147にはかなり近いと
いうところで実施をされています。取組事業も含めまして、御意見、
御質問等ありましたらお願いします。

八木 委員… 先ほど富井委員がおっしゃったように、土曜日の開催等工夫されて
いて、参加者数は、この目標値に近づいているので、おおむね達成で
いいと思います。また、例えば高齢者生活支援ショートステイ事業等
に関しても、基本利用実績はないことが望ましいですし、もし対象の
方がいたとしても、実施できる体制を整えている。実施できる体制が
整っているからこそ安心できますし、何かあったときには対応できる

ので、これはとてもいいなというふうに思いました。

富井 会長… 他に御意見いかがでしょうか。八木委員から実施できる体制をとっていたというところを評価できるという御意見がありました。一方で、周知がどれだけされていたかというところもありますが、緊急ショートステイなので、必要な人にきちんと届くようにしていただく必要があるかなと思います。はいかい高齢者等家族支援サービス事業に関しては21名というところでしたが、こちらについて少し補足等、御説明いただけますでしょうか。

寒河江 係長… こちらにつきましては、新規の申請は7名の方がおりまして、実績としましては、例年になく、多かったと感じております。高齢の方でするので、徘徊している方に関しては、やはりお亡くなりになられるなどで、利用をやめられる件数が、毎年、一定数ございますので、それほど上下動はしないのですが、令和6年度に関しては申し込み等お問い合わせ含め多かったと感じております。

富井 委員… ちなみに今回家族、家族介護者支援というところに入っておりますが、一人暮らしの認知症のある方は利用できないサービスでしょうか。市内に御家族がいらっしゃる方に限定したサービスなのでしょうか。

寒河江 係長… 御家族は市内のお住まいでなくても、対象の方が市内にお住まいでいらっしゃる高齢者の方であれば御利用可能でございます。

富井 委員…ありがとうございます。御意見等いかがでしょうか。ではこちらにつきまして、目標達成に向けておおむね進行しているというところでもよろしいでしょうか。では続いて基本目標3、施策の方向1の御説明をお願いします。

清水 係長… 基本目標3「だれもが安心して暮らすことができる」、施策の方向1「認知症になっても安心して暮らし続けるために」、重点取組は、認知症サポーター養成講座となります。進捗状況評価につきましては、目標達成に向けておおむね進行しているとしております。事業評価票の令和8年度目標値が710、令和6年度実績値755、計画書99ページの令和4年度実績が650となっております。説明は以上となります。

富井 委員… こちらは認知症サポーター養成講座の参加者数が年間で710という目標となっており、19ページには取組事業がございます。こちらも含めて、御意見御質問等ございましたらお願いします。

奥山 委員… 人数はもちろん達成していて、現状、非常に良いかと思えますけれども、サポーター養成だけで終わってしまうのではなく、講座受講後に、それを生かしていくことが大事だと思います。19ページの取組

の中で、ステップアップ講座もあったということですが、サポーターになった方が、講座を受講したことの成果を発揮できる場、活躍の場というのは、具体的に何かありますでしょうか。

鈴木 係長… サポーター養成講座を受講していただいた後、各地域包括支援センターで開催しているステップアップ講座等を受講していただくような流れがございます。具体的に何か活躍しているということについては、今のところ課題となっていますが、例えば市の委託事業ではない認知症カフェでの協力等、少しずつお願いをしてきているというところがございます。今後についても課題として取り組んでいきたいと思えます。

富井 会長… 認知症サポーターが大分普及しているというところで、その次のシーンという御意見だったかと思います。他自治体ではサロン活動の送迎、付き添いにサポーター養成講座を修了されている方がボランティアとして御活躍されたり、認知症カフェの運営に携わったりと活躍されている方がいらっしゃって、そういった活動に繋がっています。講座だけではなくて、この実施のところまで、と御意見いただいたと思います。こちらに関して、他の委員の方も御意見ございますでしょうか。

鈴木 委員… 私も現場で働いていて、認知症サポーターの方と接することがなかったもので、どういう活躍をしているのかなと、奥山先生の話聞いて思っていました。認知症の方が年々増えているのは実感していますので、講座や研修等でこれだけの方達が新しい知識を得ているのはとても心強いですし、いつか現場で一緒になれることがあったら良いなと思っています。目標達成に期待を込めて良いのではないかなと思います。

富井 委員… ありがとうございます。では、基本目標3、施策の方向1については、目標達成に向けておおむね進行しているということでよろしいでしょうか。続きまして、基本目標3、施策の方向2について事務局の説明をお願いします。

清水 係長… 基本目標3、施策の方向2「暮らしの不安や悩みを解消するために」重点取組は、総合相談支援事業となります。進捗状況評価につきましては「目標達成に向けておおむね進行している」としております。事業評価票の令和8年度目標値が32,000、令和6年度実績値は27,521となっております。計画書101ページ、令和4年度実績は29,583件です。説明は以上となります。

富井 会長… 令和4年度が29,583件、令和6年度が27,521件の実績というところですね。奥山委員から御意見ありました、相談が多いから良いの

かという回数のみで評価をするのは難しいのですが、相談に対して対応していくというところでは必要かと思います。施策の方向は、暮らしの不安や悩みを解消するためにということで総合相談支援事業が位置付けられていまして、最初の相談の入口のところを含めたものですけれども、その他に取組事業も23ページまで、多く記載がございます。こちらを含めて、御意見御質問等いかがでしょうか。

行方不明者通報時の情報発信というところで、22,788人というのは、かなり多くの件数登録されているように思います。こちらは登録いただいて、協力してくださる協力者の人数ということによろしいでしょうか。

計画・事業推進係 中濱… こちらの22,788人というのが、防災安全課で配信しております生活安全・安心メールの登録者として、高齢福祉課が行っているものではございませんが、高齢福祉課に依頼があった行方不明者を早期発見するために、防災安全課と庁内連携をしまして、登録者の22,788人の方に情報発信しているというような事業でございます。

富井 会長… 重点目標を32,000件に近づけることがどうかということはありませんけれども、施策の方向2の評価としては、目標達成に向けておおむね進行しているということでよろしいでしょうか。では続きまして、基本目標3、施策の方向3について御説明をお願いします。

清水 係長… 基本目標3、施策の方向3「介護保険制度を適切に運営するために」、重点取組は介護保険運営協議会の設置となります。進捗状況評価につきましては目標達成に向けておおむね進行しているとしております。事業評価票の令和8年度目標値が6、令和6年度実績値が4。計画書の104ページ、令和4年度の実績が5回となっております。説明は以上です。

富井 会長… こちらの評価委員会の委員と介護保険運営協議会の委員の方は、重複していらっしゃるかもしれませんが、回数というよりも内容が重要であって、大変難しいかと思いますが、御意見ございますか。

岡部 委員… これも単純に実績と目標を割ると約67%。そうすると、目標達成に向けておおむね進行していると評価をしていいのかなと思います。最終的に令和8年の事業達成状況評価の基準で判断すると、80%以上達成できなかったものは目標を下回ったと評価するかと思います。現時点では66.6%。ここの項目に関しては、おおむね進行しているとしていいのか疑問に思いました。

富井 会長… 重点取組の数値としては、達成しているとは言いがたく、他の取組事業に関しても具体的な数値で示すことができないので、こちらを合

わせて評価というのも難しいかと思います。例えば、令和6年度の開催回数を4回に設定している根拠はありますでしょうか。令和4年度は5回のところ4回に減らしていますよね。

計画・事業推進係 中濱… 介護保険事業計画策定に向けて、1年目2年目3年目で開催回数を固定して事務局の方で決定しておりまして、1年目を4回、2年目を5回、3年目を6回というところで3年間の計画を立てております。1年目の4回に関しては適切に行い、開催回数が少なかったということもございませんので、事務局としては、こちらの項目に関して達成していると考えております。1年目から3年目にかけての回数の違いにつきましては、2年目にはこれから各種基礎調査内容について御意見をいただきまして、3年目には、1年目に諮問を行った内容に関して答申をいただきます。1年目から3年目にかけて議題のボリュームが増加していきますので、この回数で設定しており、事務局で設定している回数どおりには実施できているということでこのような評価をさせていただいています。

富井 会長… 各年度の目標値を考えると達成している状況にあるというところを御説明いただきました。

岡部 委員… 今、事務局から説明があったので理解できました。事業評価表だけ見ると、そこが分かりづらく、実績値÷目標値で計算してみると達成していないと判断したのですが、今の説明で、評価については、おおむね目標どおりに進行しているとしてよいと思います。

富井 会長… 他に御意見等ございますか。

奥山 副会長… 今、岡部委員がおっしゃった通りなのですが、その進捗状況の説明欄にそれを入れておいてもいいのかなと思います。協議を4回行い、と記載があるが、予定通り、あるいは計画通りの4回行ったという書き方が、わかりやすいかなと思います。

富井 会長… ありがとうございます。他に御意見等ございますでしょうか。そうしましたら、基本目標3、施策の方向3について、目標達成に向けておおむね進行しているといたします。基本目標4について御説明お願いします。

清水 係長… 基本目標4「高齢者を支える人材が育成され、地域で安定して活躍し続けることができる」、施策の方向1「地域で活躍する人を育成するために」、重点取組が資格取得に向けた支援となります。進捗状況評価につきましては、達成状況に向けておおむね執行しているとしております。事業評価票の令和8年度目標値は8、令和6年度実績値は7。計画書の109ページ、令和4年度の実績が4件となっております。

説明は以上でございます。

- 富井 会長… 人数としては1桁台ですけども実績として増えてはいます。他にも取組事業を含めて介護人材関連のところですが、なかなか厳しい状況にある中で、頑張っているところかなと思いますが、いかがでしょうか。
- 横田 委員… 任期の初年度なので勉強しながら、聞かせていただきまして、感想になってしまいますが、指標と実績だけ見ると、事務局提示の評価になっているのというのは分かるが、御説明いただくときに、事前に資料を読み込むことはもちろんなのですが、事務局からもプロセスのところを強調して説明いただくと理解がしやすく、進捗状況についてスムーズに評価できるかなと思います。ここで一点、細かい部分の質問になるのですが、介護未経験者研修費用補助金交付事業で、補助金を出すことが人材確保につながったと言い切ってよろしいのでしょうか。
- 寒河江 係長… こちらの事業につきましては、研修を受講されてから一定期間、市内の事業所にお勤めいただくという要件を課しておりまして、その後に申請いただくという事業になっておりますので、このような表現にさせていただきます。
- 富井 会長… 相談されるケースが、もっと多いということはあるのでしょうか。該当しないので諦めてしまった方がいらっしゃるのかどうか。
- 寒河江 係長… 相談いただいている方には、すべて交付をさせていただいている状況でございます。
- 富井 会長… 一旦、御自身で研修受講いただいた後に補助金を出すという事業で、交付人数の大幅な増加というところは難しいと思いますが、実績にはつながっているということですね。
- 奥山 副会長… 介護人材確保が大変なので、申請が大幅に増えたとしても全員に交付できればよいと考えますが、可能でしょうか。質問としては、目標値は8人ですが、例えばこれが20人超えても交付可能ですか。予算の面も含めて御回答いただけますか。
- 寒河江 係長… 予算は確保したいと思います。
- 富井 会長… 他に御意見いかがでしょうか。では、基本目標4施策の方向1、こちらは目標達成に向けておおむね進行しているということです。次が最後になりますが、基本目標4施策の方向2について、御説明をお願いします。
- 清水 係長… 基本目標4、施策の方向2「地域の福祉、介護人材を支えるために」、重点取組は介護支援専門員等研修費助成事業となります。進捗状況評

価につきましては目標達成に向けておおむね進行しているとしております。事業評価票の令和8年度目標値が80、令和6年度実績値が72。計画書の111ページ、令和4年度の実績が72となっております。説明は以上でございます。

富井 会長… 令和4年度と令和6年度の実績値は同じ数値でした。取組事業については、各種研修等になりますけれども御意見等いかがでしょうか。重点取組は、市内の居宅介護支援事業所全てに周知した上で、こういった件数が上がっているということによろしいでしょうか。

寒河江 係長… おっしゃるとおりでございます。

富井 会長… 必要な件数について、対応しているというところかと思えます。進捗状況評価につきまして、目標達成に向けておおむね進行しているというところによろしいでしょうか。

各 委員… 異議なし

富井 会長… 皆様から御意見いただきましたので、報告事項にうつりたいと思いますが、これまでで何か御意見、御質問ございますか。それでは、評価票については以上になります。皆様、長時間ありがとうございました。

3 報告

①介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和6年度）について（資料3）

富井 会長… 報告事項は2点ございます。1点目、介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票についてです。事務局から御説明をお願いします。

木田 係長… 介護保険事業計画サービス見込量の進捗管理について御報告いたします。資料3の1ページを御覧ください。令和6年度の認定者数につきましては、計画値6,202人に対しまして実績が6,193人とほぼ計画通りとなっております。介護サービスの受給者数につきましては、居宅サービスが毎月3,200人前後、地域密着型サービスが毎月750人前後、施設サービスが毎月580人前後となっております。介護予防サービスの受給者数につきましては、居宅サービスが毎月680人前後、地域密着型サービスが毎月2人前後程度となっております。資料2ページ目以降が、令和4年度から6年度のサービス種類別の給付実績となっております。

こちらは令和6年度の実績値と計画値で10%以上の差異がある項目について右側の説明欄にコメントを付記させていただいております。私からは全体的な傾向について、この場で説明させていただきますと、4ページ目の上段ぐらいまでの（1）介護サービス給付費、そ

れから4ページ目の下段から5ページ目にかけて(2)の介護予防サービス給付費については、全体として令和4年度から6年度にかけて、評価をしているような状況でございます。続いて6ページ上段の(3)その他の給付費につきましては、主に利用者負担軽減の給付というものになります。こちらについても、令和4年度から6年度にかけて増加している状況でございます。6ページ中段の(4)地域支援事業費についても令和4年度から6年度にかけて増加しております。最後に6ページ目の下段の(5)市町村特別給付費については、高齢者送迎サービス費については令和4年度から6年度にかけて減少しておりまして、高齢者緊急ショートステイサービス費については、4年度から6年度にかけておおむね横ばいとなっているような状況でございます。簡単ではございますが、報告は以上となります。

富井 会長… 御意見御質問がある方いらっしゃいますでしょうか。報告ですので、これに対しての評価というわけではありませんが、こういった状況を踏まえて、また次回以降も評価をしていくというところでございます。

②国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会 今後のスケジュールについて(資料4)

富井 会長… 報告事項2点目、高齢者保健福祉計画介護保険事業計画、評価等委員会、今後のスケジュールについて御説明をお願いします。

計画・事業推進係 中濱… スケジュールをお伝えする前に、先ほど議論いただいた令和6年度進捗状況評価につきましては、委員の皆様からいただいた意見を、事務局と会長副会長で検討・集約し、評価票を確定いたします。事務局との調整につきましては、会長副会長に一任いただきますようお願いいたします。続きまして、資料4を御覧ください。今後のスケジュール予定を一覧表でお示ししております。委員の皆様の任期は令和9年12月末までの3年間で、表の白い部分がその期間となります。

また、太い線で囲んである月が評価等検討委員会の開催予定月となりますので、次回は来年度、令和8年8月の開催を予定しております。日程につきましては来年度に調整をさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。なお、本日お示したスケジュールについては現時点での予定となります。変更が生じた場合には改めて御報告させていただきますので、よろしくお願いします。

富井 会長… このスケジュールについて御質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。次回は、来年の8月予定でございますので、皆さんよろしくお願いします。報告事項は以上となりまして、本日の内容をすべて終

了いたしました。皆様、長時間ありがとうございました。

4 閉会